

令和7年度指定管理者モニタリング外部評価結果

施設名	関市わかくさ老人福祉センター
-----	----------------

選定方法	特定者指名	
------	-------	--

外部評価

3	水準をきちんと満たしている
---	---------------

コメント

- ・リニューアル後の施設利用者がさらに増加するよう、引き続き創意工夫をしていただきたい。
- ・高齢者のニーズを適切に把握し、交流の場提供、健康増進など総合的な活動が行われており、利用者の安全管理等も徹底されている。
- ・指定管理制度でありながら、実質的には直営に近い運営体制であるように感じられる。

令和6年度 指定管理者モニタリング結果票

施 設 名	関市わかくさ老人福祉センター
所 在 地	関市若草通 2 丁目 1 番地
指定管理者	社会福祉法人 関市社会福祉協議会
担 当 部 課	健康福祉部 高齢福祉課
指 定 期 間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日（4 年間）
1 総合評価 総合福祉会館の大規模改修に伴う1年間の休館を経てリニューアルオープンしたわかくさ老人福祉センターは、介護予防事業に特化した『運動支援室』や、サロン・レクリエーション、利用者間の交流や談話が可能な『多目的室』を備え、高齢者の健康増進、教養向上、交流の拠点として広く市民に利用されている。 施設は概ね良好に管理されており、開館から4か月で5,500人を超える利用者を得ている。今後も安心・安全な施設運営、広報活動や窓口業務、安全管理、緊急時対応などにおいて職員間の情報共有や研修受講によるサービスの質向上が期待される。	
2 合目的性・公平性・効果性(施設の目的との合致、市民の平等利用の確保、施設の効用発揮) 施設の管理業務は仕様書どおり概ね実施されている。 介護予防は市民にとって関心度の高い事業であり、指定管理者として多様なメニュー提供することで、高齢者が各自で必要な講座に積極的に参加可能となり、社会参加やQOL向上新規利用者獲得に貢献し、介護予防事業の普及啓発に寄与している。 また、各種運動機器やレクリエーション備品の提供に際しては、一人が連続して独占できないよう配慮・工夫しているほか、部屋を長時間利用しようとする団体に対しては懇切丁寧に説明し、ご理解をいただくなど、公平なサービス提供に努めている。	
3 機能性・独創性(事業への具体的な取組方) 『健康増進室』は常時開放され、ビデオ体操の上映によって自由に体操できる場を提供し、多くの利用者に利用されている。利用者は体操を通じて心身のリフレッシュや交流の時間を過ごしている。 また、『運動支援室』では週1回の講師指導による健康体操教室や介護予防教室を開催するなど、多様な取り組みで運動習慣の定着と生活の質向上に努めている。	
4 責任性・実効性(施設の運営体制・組織) 老人福祉センターのスタッフと社会福祉協議会職員が連携し、管理や事業企画運営にあたっている。委託元である高齢福祉課とも密に連携を図り、安全・安心な運営体制の維持に努めている。	
5 安定性・安全性(管理の安定性と安全管理、緊急時等での対応) 館内の感染症対策（手指消毒、備品清掃など）を徹底し、利用者の健康維持や交流を促進している。施設の清掃や点検は毎朝実施、トイレ巡回も複数回行い、転倒防止の備品配置等安全管理が徹底されている。 消火器やAEDの設置場所や使用方法、火災時の避難経路は職員間で共有されており、わかくさ・プラザの消防訓練にも参加し、利用者の緊急時の対応に備えることができている。	
6 社会性・貢献性(地域への貢献、環境への配慮等) 市の中心施設として高齢者の自主的活動や相互交流、相談対応を通して健康推進と教養向上に努め、住み慣れた地域での生き生きとした生活を支援している。周辺地域の高齢化率上昇に対応し、新規利用者誘導のための周知活動への注力を期待する。 照明・空調の適正利用やゴミの分別呼びかけなど環境配慮にも積極的に取り組んでいる。	
7 効率性・経済性(経費の縮減と収入の増加対策) 高齢者の地域ニーズを把握している社会福祉協議会が組織的に関わり、介護予防事業に長年携わった経験豊富な職員が事業企画運営にあたることで、利用者のニーズに合った効率的な資源配分が可能となっている。 施設の修繕を終えて間も無いので現状では特に問題は無いと考えられるが、不具合発見時は迅速に対応し、経費の最小化に努められたい。	
8 経営の健全性 多様化する市民ニーズに対応しつつ、限られた指定管理料の中で健全に運営されている。今後も、年間事業計画に基づき、計画的・効率的な施設運営に努められるよう期待する。	
9 課題・業務改善への考え方 利用者拡大や満足度の把握、多様なニーズの明確化のためアンケート調査を実施し、広報活動の充実や魅力的な新規事業の推進に積極的に取り組むことで、サービス向上に活かすことを期待する。 また、公平なサービス提供のため、改善点の継続的な検討を依頼する。	

過去3か年の運営状況

施 設 名	関市わかくさ老人福祉センター
指定管理者	社会福祉法人 関市社会福祉協議会
担 当 部 署	健康福祉部 高齢福祉課

		令和4年度(※)	令和5年度	令和6年度
利用者数(人)			5,095	5,699
収 入	収入額(円)		9,496,000	12,386,000
	うち市からの指定管理料(円)		9,496,000	12,386,000
	他の主な収入内容		指定管理料	指定管理料
	使用料の受入先	指定管理者	-	
	(どちらかに○)	市	-	
支 出	支出額(円)		9,496,000	12,386,000
	主な支出内容		人件費	人件費
差 引	差引(円)	0	0	0
	損益の処理方法	指定管理者	○	
	(どちらかに○)	その他(具体的に)		()
職 員 数	職員数(人)		3	4
	内パート等の人数(人)		2	3

※指定期間R5.4.1～